

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社
代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。木々の芽吹きに春を感じるこの頃ですが皆さまはいかがでしょう。

コロナウイルスの猛威に脅威を感じながら過ごしてはいましたが、どんなウイルスにも負けない身体作りが重要だと聞きました。食生活や睡眠を十分に取る事により免疫力を高める事、今食べてる食事は10年後の自分を作ることに繋がるとの事。心掛けたいと思います。春陽のもと穏やかな日々をお過ごしください。

サンライズの物語

退職する職員との別れ

仲間への想いに満ちた物語

毎年4月は門出の春・・・弊社の職員も家庭の事情で退職する人があります。新しい職員が入社したとしても、出会ったからには別れは必ず来るものです。

寺山修二の小説やエッセイにもあるように「花に嵐のたとえもある。さよならだけが人生だ」の一説が有名ですが、訳は「さよならだけが人生であれば、今この時間を大切にせねばならない」らしいのです。

一旦繋いだ手は絶対に離さないといつも思っていますが、仕事だけではなく一人一人の家庭の事情があり複雑に絡みあってしまうのは仕方がないことではありますが、別れることは辛く悲しいことです。

ただ、退職しても何処の事業所よりも介護に対する姿勢は熱く、常に利用者様の事だけを考えているサンライズを忘れずにいて欲しいと思います。

働き方改革が叫ばれる中・・・介護は、待ったなしの命を預かる現場であることから理想と現実の狭間で私も含め職員達も苦しんでします。

介護職の現場や地位の改善を切に願うばかりです。



サンライズのデイサービス陽光だより

【介護職員】
渡辺 香里



サンライズのデイサービス陽光の介護職員の渡辺 香里です、よろしくお願いいたします。

不慣れなこともありますが一生涯懸命頑張ります！

【入社 令和元年12月】 【血液型AB型】



井上から
エール！

渡辺さんをどうぞよろしくお願いいたします。

介護に役立つ書籍紹介

きれいな母を看取れますか？ 関係がわるい母娘の最終章

著：寺田 和代

関係がわるい母と娘が最後に向き合う機会である「介護」。重すぎる母の介護を、どのようにのりきればよいのだろうか。母親の過干渉、身体的・精神的な虐待、養育放棄や親の依存症など、親から広い意味での虐待を受けて育った人、とりわけ、現在の自分の生きづらさが親との関係によるものだと思えたAC(アダルト・チルドレン)は、母の介護という現実をどう受け止め、どんな選択をしているのか。著者本人の経験をふくむ7人のリアルストーリー。



NEWS 今月のニュース

薬師谷で試験運行

住民運営の予約タクシー

バス路線から離れた場所に住宅が点在する金沢市薬師谷地区で十一日、住民が運営する地域運営交通「やくし号」の試験運行が始まった。予約に応じる「デマンドタクシー」で、高齢者の買い物や通院といった日常の移動手段を確保する。

薬師谷地区町会連合会が、金城交通（千木）に委託して運行。事前の予約に応じて、十人乗りのジャンボタクシーか五人乗りのタ

クシーを走らせる。ルートは、小野町とイオン金沢（福久）を結ぶ「北ルート」と上涌波町とイオン金沢を結ぶ「南ルート」の二種類。運行は火曜と金曜のみで、一日一往復か二往復する。利用には、金城交通へ前日の午後三時までに予約が必要。

試験運行は三月三十一日まで。終了後にアンケートなどをして運行本数や時間を調整し、四月以降に再び試験運行をしてから、本格運行に移る。二月中の利用は無料で、三月は一世帯当たり千円の会

費を求める。

同連合会の荒木和男会長（78）は「高齢者で運転免許を返納する人も増えている。一人でも多くの人に活用してもらいたい」と話している。事業には市の「地域運営交通支援費」を活用。市内の地域運営交通は、内川地区、大浦・川北地区に次いで三カ所目という。



<中日新聞
2020年2月12日(水)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>